

初めて喪主をされる方のチェックリスト

□ 医師に連絡する

- ・自宅で亡くなった場合 → かかりつけ医又は、救急に連絡し、「死亡確認」をしてもらう。
- ※警察検案の場合は、一旦担当地区の警察署へ運ばれ検案をさせれてから次の日以降でお迎えになる。
- ・病院で亡くなった場合 → 病院で死亡診断書が発行される

□ ご家族・近親者に連絡する

- ・すぐ来てほしい家族・兄弟などを中心に。
- ・連絡は電話が確実。LINEなどは補助的に。

□ 葬儀社に連絡する(24 時間対応)

- ・遺体搬送のため、まず 1 社に決めて依頼。
- ・すでに決めている葬儀社があれば、事前登録の電話番号に連絡。
- ・未定の場合は、病院から紹介を受けず、自分で選ぶ方が安心(後で費用トラブル防止)。

□ 安置場所を決める

- ・自宅または葬儀社の安置施設。
- ・マンションなどで安置が難しい場合は、葬儀社施設が多い。

□ 宗教・宗派を確認する

- ・仏教・神道・キリスト教・無宗教などを確認。
- ・お寺・菩提寺がある場合は、早めに連絡を入れる。

□ 葬儀の形を家族で相談する

- ・家族葬・一日葬・直葬・一般葬など。
- ・故人の意向がある場合は尊重する。

□ 葬儀社との打ち合わせ時に準備するもの

- ・故人の情報(氏名・生年月日・住所など) ・喪主を決める ・日程(お寺や火葬場の都合と調整)
- ・予算の目安(例:30 万～200 万円) ・写真(遺影用・スマホ写真でも可)
- ・衣類(ご納棺用の服があれば)

□ 死亡届を提出する

- ・医師の「死亡診断書」を持って市区町村役場へ(葬儀社が代行すること多い)。
- ・提出後、「火葬許可証」が発行される。

□ 弔問の対応・香典辞退の方針

- ・弔問を受ける範囲を家族で決めておく。
- ・家族葬なら「故人の遺志により、近親者のみで行います」と伝える。

□ お通夜・告別式の案内

- ・親族・親しい友人・勤務先などへ案内。
- ・日程と場所が確定してから一斉に伝える。
- ・参列者の人数を確認する。
- ・お料理(通夜部る舞い、精進落とし料理)をされる場合の数を確認する。

□ 葬儀後(落ち着いたら)

- ・香典返し・お礼の挨拶
- ・役所・年金・保険などの手続き
- ・四十九日・納骨の準備